

中標津町自治推進会議 委員の皆さまへ

なかしべつ町民活動ネットワーク

代表 本間 玲子

「中標津町の自治のあゆみ（仮）」作成について（案）

～ “「みんなの力で明るい豊かなまちをつくる」という町民憲章を尊重し、自ら考え、行動し、
決定することによる、町民が主体の自治の実現の最高規範”
制定による変化を「見える化」するために～

《現状》

・課題

自治基本条例策定時に「そもそも条例は必要か？」と、策定委員から疑問が出されたことから、先に制定した他自治体へヒアリングを行ったことがある。その時に条例の必要性を強く認識したのと同時に、策定後も条例を軸に積極的にまちづくりを行う自治体もあれば、会議を開くのみ自治体もあり、自治への取り組みに明暗が見られた。そのため本会議では、「“自治”ってなに？」というテーマで、制定時や5年目のイベントや「じわじわアンケート」など、自治について考える機会を積極的につくってきた。現場でも、町民と行政の協働の取り組みが増えていると認識しているが、現時点ではあくまでも肌感覚であり、「条例ができて、自治や協働が進んだ」と公式に提示できる資料はないと考えている。

・原因

条例策定時のヒアリングで、「条例ができたからといって、すぐに変化するものではない」とニセコ町の策定委員からアドバイスがあった。同町でも、10年目に一区切りのイベントを開いている。実際、本町でも会議のあり方や協働のバランスについて手探りが続き、10年目にして、ようやく中標津町らしい自治への道のりが見えてきたところではないかと思う。

《提案》

・解決策

中標津町自治基本条例を制定したことにより、協働や町民の自治意識がどのように高まってきたのか、なかしべつ町民活動ネットワーク（通称：N-CAN）では、過去の協働の事例や自治の取り組みとして知りうるもの、団体が関わったものを記録に残してきた。

これをベースに他の動きを加え、「中標津町自治のあゆみ（仮）」を本会議終了時の成果資料として作成してはどうだろうか？と考えた。 ※追加案：昨年実施の「ひろばカフェ」など

・効果

本会議の中標津町自治基本条例に対する諮問・答申において、「この条例によって自治が進んだ」と明確に「あゆみ（仮）」として整理され、見える化し、表から協働や自治の進み具合を評価できるようになることで、これまでの取り組みそのものが、成果として定義されることに繋がると考える。さらに、そのように評価ができることで、町民も行政も今後の自治のまちづくりへの励みと参考になり、自治と協働をさらに進めることになるだろう。

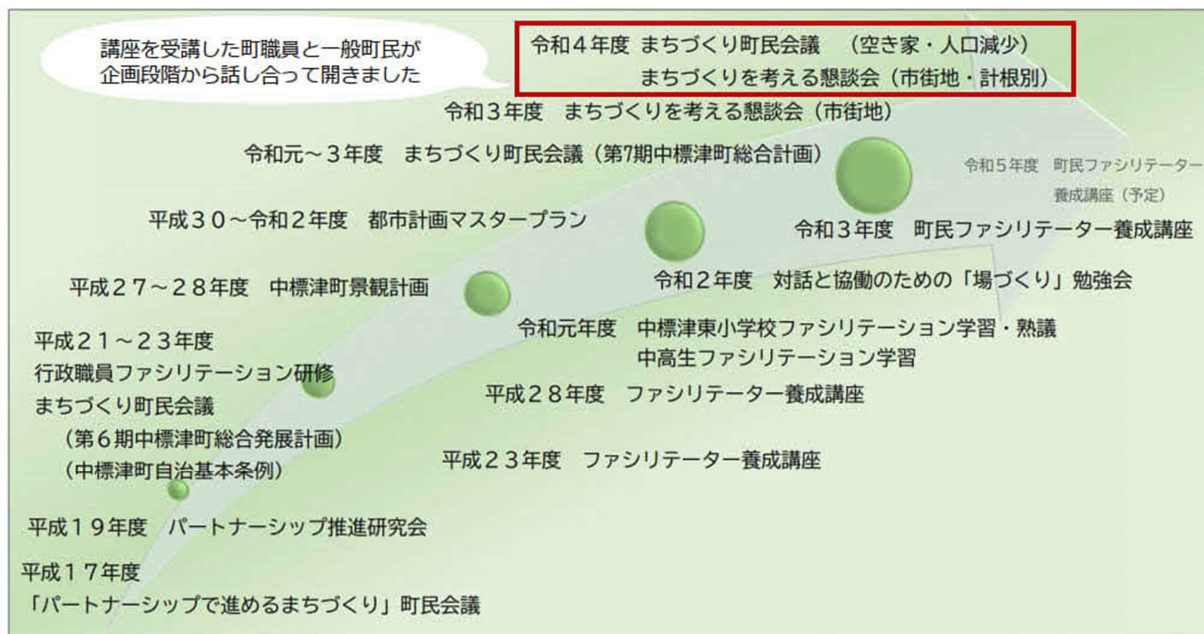
参考資料 1 中標津町の自治と協働のあゆみ

(令和5年3月なかしべつ町民活動ネットワーク作成)

町のあゆみ	自治と協働のあゆみ
2023年3月 なかしべつ町民活動ネットワーク作成	
平成17年 3月 養老牛中学校、西竹中学校閉校 10月 国勢調査で人口23,792人に 平成18年 3月 若竹小学校、伏森中学校閉校 4月 町有施設の指定管理者制度開始 平成19年 10月 上武佐地区の北村家住宅主屋（旧土田禮館）が町町有の登録有形文化財（建造物）に選ばれる 平成20年 8月 FMなかしべつ放送開始 9月 町長選挙 小林英氏8代目町長就任 平成21年 7月 第1回なかしべつ330⁺ 開陽台マラソン開催 平成22年 10月 国勢調査で人口23,982人に 平成23年 4月 第1期総合発展計画スタート 中標津町民生型交流センター開設 7月 ごみ処理手数料改正 10月 中標津町自治基本条例可決 平成24年 3月 養老牛小学校閉校 9月 町長選挙 無投票で小林英氏2期目町長就任 平成25年 3月 暴風雪災害のため5名死亡 伏森小学校閉校 平成26年 3月 開陽小学校、武佐中学校閉校 平成27年 3月 西竹小学校閉校 武佐へき地保育所開所 4月 計根別学園（小学部・中学部）開校、新校舎落成 5月 中標津町児童センター「みらいる」オープン 7月 開町50周年タイムカプセル開封式 10月 国勢調査で人口23,774人に 平成28年 9月 町長選挙 西村領氏9代目町長就任 10月 中標津町総合体育館（330⁺アリーナ）完成 平成29年 4月 武佐小学校閉校 平成30年 3月 協和へき地保育所開所 平成31年 1月 原動機付自転車ご当地ナンバープレート交付・交換開始 4月 中標津町宮テニスコート 供用開始 計根別こども館「えみふる」オープン 令和元年 5月 新元号「令和」となる 10月 ごみ処理手数料改正 令和2年 3月 伏森小学校閉校 5月 如床ナンバープレート交付開始 8月 町長選挙 無投票で西村領氏2期目町長就任 町議会議員選挙（無投票） 10月 国勢調査で人口23,010人に 令和3年 4月 第2期中標津町都市計画マスタープランスタート 若谷学園ひがし北海道日本語学校設立記念式典を挙行 9月 第7期中標津町総合計画スタート 令和4年 3月 協和へき地保育所開所	11月 「パートナーシップで進めるまちづくり」町民会議（～平成19年3月 計17回） 3月 「パートナーシップ」なかしべつフォーラム 「パートナーシップ」なかしべつ提言を西澤雄一町長へ提出 4月 パートナーシップ推進研究会（～平成20年3月 計20回） 10月 中標津町行政研修（ファシリテーション） 11月 中標津町まちづくり町民会議（～平成24年6月 全39回） 9月 中標津町行政研修（ファシリテーション） 5月 ファシリテーター養成講座（ファシリテーター養成講座実行委員会） 2月 中標津町行政研修（ファシリテーション） 10月 中標津町自治推進会議（～平成29年2月 計18回） 9月 中標津町景観計画策定委員会（～平成29年2月 計7回） 9月 「ファシリテーター養成講座」（ファシリテーター養成講座実行委員会） 景観まちづくりワークショップ・景観フォーラム 町内会アンケート（計根別） 11月 自治基本条例啓発イベント 12月 なかしべつ町民活動ネットワーク 設立 12月 中標津町自治推進会議（～平成29年2月 計15回） 町内会アンケート（泉中央） 3月 中標津町内の全小中学校に学校運営協議会を設置 10月 中標津町都市計画マスタープラン策定委員会（～令和2年11月 計7回） 12月 中標津町まちづくり町民会議（総合計画～令和3年8月 計16回） 10月 みんなの景観なかしべつプロジェクト 設立 12月 深い学びを促進するファシリテーションを学校に！in 中標津（NPOファシリテーションきたのわ） 5月 小学6年生向けファシリテーション授業（中標津東小学校） 6月 都市計画マスタープラン策定委員が協働によるまちづくりの取組みを学習するため、静岡熱牧の原市と掛川市を視察 9月 開拓景観を考える公開シンポジウムで「町民ファシリテーター」の名称を使用 （教文文化財・自治体有志による宣言） 1月 無議「東つ子会議」（中標津東小学校） まちづくりフォーラムに附けて、テーブルファシリテーター講座を実施（市街・都市マース） 2月 まちづくりフォーラム 2020で、過去の講座受講者が町民ファシリテーターを実践 対話と協働のための「開つくり」勉強会 3月 中標津町地域学校協働本部を設置 4月 総合計画の3者合同会議（審議会・町民会議・策定委員会）でグループに町民ファシリテーターを配置して実施 10月 町民ファシリテーター養成講座 中標津町子ども・子育て会議 11月 なかしべつ「空き家セミナー」 まちづくりを考える懇談会（市街地） 9月 まちづくり町民会議（空き家編） 中標津町自治推進会議（～令和9年） 10月 町内会長アンケート（中標津町全町内会連合会・協働推進係） 10月 まちづくり町民会議（人口減少） 12月 まちづくりを考える懇談会（市街地・計根別）

①町民ファシリテーターの今年度の活動

■中標津でこれまで実施してきた「対話による協働のまちづくり」の取り組み



※矢印左上は町、右下は町民主体で行った取り組み